

# 2021年度 事業報告書

2021年4月 1日から

2022年3月31日まで

学校法人松井学園

## 1. 法人の概要

名称 学校法人 松井学園（昭和50年1月7日法人設立）

代表者 理事長 松井 哲治

住所 堺市南区赤坂台2丁3番1

電話 072-298-2300

FAX 072-298-2315

設置する学校

住所 大阪府堺市南区赤坂台2丁3番1

名称 赤坂台幼稚園

役員 理事 6名 監事 2名

評議員 13名

理事会 2回開催 評議員会 2回開催

職員 36名

## 2. 事業概要

（ 赤坂台幼稚園 ）

《教育方針》

ひとりひとりの個性を大切にし、知育・体育・徳育を中心に健全な心身の発達をはかります

《教育内容》

自然に恵まれた環境の中、体育・音楽の各分野に専門指導者を招き、園児の体力づくり、情操教育に努めていきます

《園児数》

1号・2号認定

	3歳児		4歳児		5歳児		クラス数計	園児数計
	クラス数	園児数	クラス数	園児数	クラス数	園児数		
利用定員	2	50	2	50	2	50	6	150
2020年度	2	36	2	44	2	43	6	123
2021年度	2	36	2	30	2	46	6	112
2022年度	2	36	2	32	2	31	6	99

3号認定

	0歳児		1歳児		2歳児		クラス数計	園児数計
	クラス数	園児数	クラス数	園児数	クラス数	園児数		
利用定員			1	3	1	10	2	13
2020年度							0	0
2021年度					1	2	1	2
2022年度					1	10	1	10

《保育時間》

月～金曜日 午前9時～午後2時（1号）

月～土曜日 午前7時30分～午後6時30分（2号・3号）

《納付金》

項目	1号認定	2号・3号認定
施設整備費	50,000円	50,000円
保育料	無償化により徴収なし	2号 無償化により徴収なし 3号 堺市が定める金額
教育充実費（月額）	3,000円	3,000円
給食費（月額）	3,800円	6,500円
絵本代（月額）	400円	400円
暖房費（月額）	200円	200円
バス申込金	2,000円	2,000円
バス維持費（月額）	赤坂台 2,400円 赤坂台以外 3,100円	赤坂台 2,400円 赤坂台以外 3,100円
学校スポーツ保険料	240円	240円

《預かり保育内容及び費用》

【通常保育後の預かり保育・延長保育の利用料金】

7時30分～8時まで	30分毎／200円
午後保育後～17時までの3時間	1日 700円
簡易給食後～17時までの4時間	1日 900円
午前保育後～17時までの6時間	1日 1,300円
17時～18時30分まで	30分毎／300円
18時30分～19時	30分／500円
預かり保育バス送り 16時45分頃に幼稚園を出発	1回 200円

※2号・3号認定の保育短時間で通われる方は早朝・延長保育を利用できます。

【1号認定児の土曜の預かりと長期休業日の預かり時間と利用料】

土曜預かり保育		行事以外の土曜日 ※1号認定はお弁当必要
長期休業日	夏期預かり保育	夏休み(お盆を除く) ※1号認定はお弁当必要
	冬期預かり保育	冬休み(12月29日～1月3日までを除く) ※1号認定はお弁当必要
	春期預かり保育	春休み ※1号認定はお弁当必要
土曜日 長期休業日 利用料	7時30分～9時まで	30分毎／200円
	9時～12時までの3時間	1日 700円 おやつ無し
	9時～15時までの6時間	1日 1,300円 おやつ無し
	9時～17時までの8時間	1日 1,800円 おやつ代含む
	17時～18時30分まで	30分毎／300円
	(延長) 18時30分～19時	30分／500円

《行事实施状況》

園外保育、プール開き、お涼み会、宿泊保育、運動会、いも掘り、園遊祭、みかん狩り、造形展、クリスマス会、お遊戯会、おもちつき、お別れ遠足

#### 《施設関係》

園地面積 3, 384㎡ 運動場面積 1, 318㎡

実験実習地 2, 975㎡

外壁改修工事、遊具塗装等を実施。

#### 《設備関係》

一体型顔認証端末サーマルカメラ、カメラを取得。

#### 《事業報告》

2021年度も新型コロナウイルスの影響があったが、前年度に引き続き行事等保育の内容を変更しながら保護者の協力を得て役職員の真摯な努力により、着実に運営することができた。

昨年11月から年明けまでは第5波が収まり、社会・経済活動の再開で進展するかと思われたが、1年半ばより感染力の強いオミクロン株の第6波が全世界に拡大し、わが国においても驚くような感染状況が続き、新年度に突入した。

更に、冬季オリンピック閉会の日、ロシア軍によるウクライナ侵攻の戦争が勃発し、世界は、新型コロナウイルス以上の課題を抱え、暗黒の状況に陥らされることとなり、世界中が、一刻も早く侵略戦争が終わることを固唾を呑んで願っているが、戦争と新型コロナウイルスの影響は当分続くものと思われ、景気の一層の落込み、原油価格の高騰、相次ぐ生活用品の値上げ等により、保護者世帯の家計も厳しい状況になると考えられる。

また、2021年の出生数は、84万2,897千人となり急激な少子化が進行しており、婚姻数が前年度より12%以上減少していることから、2022年以降は、一層少子化が進み80万人を割り込むことが予想される。

採用状況についても、依然として厳しい状況が続いており、幼稚園教諭・保育士の養成校も生き残りをかけ学生確保に取り組んでいるが、大阪府内の殆どの養成校は、定員を確保出来ていない状況になっている。更に、受験生の多くは4年制大学指向が強くなり、幼稚園教諭の免許及び保育士資格を取得した場合でも、企業の採用意欲が強くなり、すんなりと認定こども園・幼稚園に応募することも極端に少なくなってきた。

そのような状況から、当園としては、安定した事業継続を図るため、地域の少子化進行状況及び養成校はもとより、人材派遣会社等から教職員採用状況を調査・検討し、実態をしっかりと見定め、慎重に対応していくこととする。

2015年4月より子ども子育て支援新制度がスタートしたが、移行が進み、2022年度は、6割近い園が新制度に移行し、171園が私学助成で園を運営している。

当園は、2016年度より幼稚園型認定こども園に移行して運営しており、収入を安定させるためにも、施設給付費の加算等の内容を十分に把握し、事務を効率化し確実に対応することとする。

自己評価については、確実に実施し公表しているが、その自己評価の内容を、学校関係者評価委員会で十分検討して頂き、別紙のとおりまとめ公表に努めた。

財務状況は、事業活動収支計算書より、教育活動収入計が130,351千円（対前年比8.21%マイナス、142,017千円）、教育活動支出計131,265千円（対前年比0.29%プラス、130,888千円）、教育活動収支差額913千円マイナス（前年度11,129千円プラス）、経常収支差額比率0.68%マイナス（前年度7.86%プラス）の経営状況になった。

また、人件費比率（人件費／教育活動収入計＋教育活動外収入計）は、68.94%（前年度65.84%）となり、前年度より上昇した。翌年度繰越支払資金は、当年度の保持すべき資金（第4号基本金）の額を相当上回る額の支払資金を保持できているので、資金繰りは問題ない。

### 3. 財務状況

別紙参照。